

1. 評価報告概要表

作成日 平成19年12月7日

【評価実施概要】

事業所番号	1196500019
法人名	東電パートナーズ株式会社
事業所名	東電さわやかケアポートさいたま・グループホーム
所在地	330-0071 さいたま市浦和区上木崎2-2-1渋谷ビル5階 (電話) 048-693-7851

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65
訪問調査日	平成19年11月19日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤5人, 非常勤5人, 常勤換算7.8人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 5階建ての5階部分
------	-------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	35,750円+実費	
敷金	有(140,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(525,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	600 円
	夕食	700 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.7 歳	最低 76 歳	最高 96 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大宮共立病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、開設当初からの職員が多く、利用者との馴染みの関係が作れている。駅前のビル5階にあり、交通の便が良いため家族の面会が頻繁にある。毎日散歩や買い物に出かけ、商店街の方に声を掛けられたり、散歩の途中で雨が降った時には近隣のコンビニの方が車を出して送ってくれるなど地域に溶け込んでいる。運営推進会議が定期的に行われ、利用者や家族も参加してホームの運営に対して意見を伝えている。現在、利用者の介護の重度化とターミナルケアが課題となっているが、重度化に配慮して食事外注にするなどで対応している。ターミナルケアについては早い段階から家族や医師、ホームとの間で相談し、連携を取りながら利用者にとってよい支援となるよう進めている。ホームの職員だけでは限界もあるため、今後のグループホームの取り組みに期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は皆熱心にケアに取り組んでいるホームであり、評価で改善課題とされた地域への関わりや、職員間の情報の共有などについては積極的に地域に溶け込み、情報の共有のための工夫をするなどして改善を図っている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価に取り組み、日々のケアを振り返ってサービスの質の向上に努めた。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1度定期的に行っている。初めはホームの説明や見学などでホームを理解してもらい、徐々にホームの実情を話している。会議のメンバーは、地域の方の他に、利用者本人と家族も入って討議している。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の面会が頻繁にあり、家族はいつでも職員に話をしたり聞いたりできる雰囲気である。ホーム便りも定期的に送付し、利用者の様子を把握できるようになっている。運営推進会議にも家族が出席して第三者の前でホームの運営についての意見が言える仕組みとなっている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>毎日の散歩や買い物などで地域に馴染み、地域の人とも交流がある。紙芝居のボランティアの訪問や商店街の人からは声を掛けられたり、地域のお祭りに参加したりしている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「私たちは笑顔と真心のサービスに努めます」という事業所独自の理念のもと、日々のケアに努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所独自の理念であるため、職員全員が把握しており、また、玄関に掲示し、理念についての意識を共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム開設後6年が経過する中で、毎日の散歩や買い物で地域の方々と挨拶を交わすうちに地域に溶け込んできている。散歩時に突然の雨に遭った時は、地域の方が車を出してホームまで送ってくれたこともある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で取り組んだ。また、過去2回の外部評価での要改善事項についても職員間で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度定期的に行われている。参加者も地域の方や家族、利用者本人もメンバーに入っていて、ホームに対する希望が伝えやすくなっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの運営上、困難なことが生じた場合は、市担当者に相談したり、地域ケア会議に参加して意見を聞き、問題解決を図るなど、日頃から市と連携できる体制が築けている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月ホーム便りを送付し、近況を報告している。面会も多く、そのつど家族に利用者の生活の様子を知らせている。花見や夏祭り等の行事には、家族も参加して一緒に楽しみながら利用者の様子を観てもらっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に出席してもらったり、面会時に声を掛けるなど、積極的に家族の話を聞こうとしている。運営推進会議には地域の方も参加しているので、家族や利用者の声が外部の人、地域の人に伝わるように工夫されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホーム開設後職員の異動はほとんどなく、主に施設長と管理者の交替もないため、職員の異動に伴う利用者に与える影響は少ない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は積極的に研修に出かけ、自己研鑽に努めている。実務者研修ではターミナルケアの発表などしている。研修報告なども行われている。ほとんどの職員が介護福祉士を受験していたりと向上心があり、ホームとして資格取得のための配慮をしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の研修・勉強会に参加し、ケアプランの作成等を改善するなど、同業者との交流を通じたサービスの向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者とは何度か面接をし、入居後も職員が利用者の生活の様子を確認し、他の利用者の中に徐々に入っていきけるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の介護度の変化に応じて、利用者自身に洗濯干しやモップかけ、植物の世話等を行ってもらっており、介護する一方ではなく、利用者の能力や経験を生かした支援を行っている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時や入居後、本人や家族から生活歴や趣味などを聞き取り、日常生活に生かすよう努めている。また、日々の関わりの中で利用者の体調や伝えたいことなどを汲み取り、無理の無い生活や本人本位になるような生活に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員が担当職員とよく話し合い、ケア会議にて介護計画の試案を検討するとともに、本人や家族の意見を反映して介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度は介護計画を見直し、それ以外にも利用者の状態に変化があるときにはそのつど話し合っで見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要に応じてボランティアに在所してもらったり、状態に応じて訪問看護を利用したり、家族に泊ってもらうなど、ホーム内で柔軟に対応し、支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームとの提携医が定期的に訪問している。また、必要に応じて電話連絡し往診もしてくれる。在宅時からのかかりつけ医に受診している利用者もいる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームのマニュアルまでには至っていないが、ターミナルケアには積極的に取り組んでいる。普段の面接時から家族に利用者の状態を知らせ、早い段階で家族とかがかりつけ医とホームで話し合いを持ち、家族と職員が一緒になってケアにあたり、安らかな最期を迎えられるように支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の中には、他の利用者の前で排泄のことを聞いたり、他の職員と大きな声で介護の話をしたりしている職員も見られた。記録は利用者の前で開くようなことはしていない。		利用者に声をかける際の声量や場所が、利用者一人ひとりにとって最適なものになっているか、再度、職員全員で検討されることを期待する。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩に毎日行っているが、無理強いすることなく、なるべく外に出られるよう車椅子を利用したり、利用者個々にあわせて行っている。食事でも利用者の希望を聞き外食や出前など好きなものを食べる日を設けて工夫している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や調理の片付け、後片付け等を職員と利用者が一緒に行っている。また、利用者の希望を取り入れた献立を作成したり、外食や出前をとるなどの工夫をして、楽しく食事ができるような支援を行っている。現在、利用者の重度化が進み、職員全員が利用者とともに食事をとれる状況ではないが、職員と利用者ができる限り一緒に食事をとるよう努めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日午後入浴があり、入浴を嫌がっている利用者も週に2回は入れるよう支援したり、入浴が好きな利用者は毎日入ることができるなどの支援がなされている。また、入浴チェック表をつけ、利用者一人ひとりの入浴状況を把握している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	高齢のため日常生活動作や生活力などが低下し、介護が必要になっている利用者が多いが、それでも食事の準備を手伝ったり下膳をしたり、カレンダーを作ったりするなど利用者それぞれの力に応じて役割や楽しみが持てるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	足腰が弱ってきている利用者が多く、ビルの5階で出かけるのも大変であるが、職員の頑張りでも毎日散歩に出かけている。日によっては外食に出かけたり車で遠出をしたりと戸外に出かける支援をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ビルの5階にホームがあり、1階は銀行という特殊事情もあり、家族了解のもと、玄関の鍵はかけられている。しかし、居室やフロア内は自由に行動できるようになっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対応マニュアルもあり、避難訓練も行われているが、地域住民との協力体制は築けていない。		日ごろから地域住民との連携を図りながら、事業所の災害時対策に関する理解を求め、協力体制を築いていくことを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	昼夕食は、高齢者向けの調理済み食材を仕入れ、朝は体調を考えて玄米粥の食事となり、栄養バランスは摂れている。また、毎食、食事量や水分量を一人ひとりチェックして、利用者が栄養、水分が確保できるよう取り組んでいる。利用者の状態に合わせて粥食やミキサー食などの工夫もされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や食堂には桐の箆笥やお茶の道具、座り心地の良いソファなどが置かれている。しかし、テレビとCDラジカセを同時につけ、その音量も生活の場所としては大きく感じられる。		利用者にとって快適な空間づくりのために、テレビやCDラジカセの最適な音量等について、再度、職員や利用者、家族等で検討されることを期待する。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋は家で暮らしていたときの仏壇や家具、ベッドなどが持ち込まれて居心地よく過ごせるよう工夫されている。		